

「第16回専攻科研究論文公開発表会」にあたって

平成8年4月、5年制の本科卒業後の教育課程として2年制の専攻科が北九州高専に設置されてから16年余が経過しました。その間、本科から専攻科への進学を希望する学生諸君は、年々、増え続け、収容定員40名に対して在籍者数99名、本年度の修了予定者は53名となっております。今や、定員増を考えなければいけない状況となっております。

専攻科の設置は、学生諸君に大学院に接続したパスを拓くと共に、「中堅技術者の育成」という当初の目標を、高度で幅広い実践的で創造性のある教育へと発展させました。中央教育審議会は、この実績を評価し、平成20年12月、「高等専門学校教育の充実に向けて」の答申において、「中堅技術者の養成」から「幅広い場で活躍する多様な実践的・創造的技術者の養成」という方向で「高専」をさらに充実させるべきと提言しています。

「高専」にとっては、中央教育審議会の答申に応え、地域・産業・社会のニーズに対応した教育研究の充実によって、専攻科の位置付けを明確にし、「高専」のプレゼンスを確保することが喫緊の課題となっています。産業構造の変化や技術の高度化など時代の進展に対応した高度で幅広い実践的で創造性のある教育を実施するためには、今や、地域産業界との連携が必須のように思われます。地域産業界の皆様方からの「高専」での研究に対するご助言やご意見は、研究の有用性を高め、その成果や考え方を教育に反映できるものと信じております。さらに、企業のシーズやニーズを「高専」に持ち込んで頂き、地域産業界の技術者と学生、教員が一体となって研究開発できれば、学生にとって良い実践教育となることに違いありません。これにより、「幅広い場で活躍する多様な実践的・創造的技術者の養成」が達成できるものと確信しております。

本公開発表会では、専攻科修了予定者が本科での卒業研究ならびに専攻科での特別研究を通して培ってきた日頃の研究活動の成果を紹介いたします。是非、本発表会に地域産業界の皆様のご参加を賜り、「高専」を少しでもご理解頂くと共に、「高専」と地域産業界との連携がより密接になればと願っております。

平成25年1月吉日

北九州工業高等専門学校
校長 塚本 寛